

支援する会ニュース

2022. 4. 7 NO. 76

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野 1-12-6 3階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

和田会長は逃げずに、争議解決を決断せよ！！

3月31日に第75回木曜行動がのべ90人余の参加で行われました。サンケン電気のホームページによると、6月の株主総会をもって和田会長が退くとともに、サンケンコアの李明濬(イ・ミョンジュン)氏が取締役役に昇進するとのこと。李明濬氏の昇進は韓国でのビジネスが重要な証しです。和田会長、退任前に自ら犯した過ちを清算してください。「立ち鳥跡を濁さず」が和田会長のなすべきことです。韓国では大雨で古くなった籠城テントが潰れ、急いで復旧したそうです。「雨にも負けず、風にも負けず」で闘い続ける韓国サンケン労組です。

〔本社正門前〕



支援する会の仲間の発言で行動開始。韓国からキムウニョンさんが、和田会長の退任に触れて「和田会長、あなたの

会長職は株主総会まで維持されるはず。残された期間中に必ず自らが犯した罪をつぐない、責任を取り、私たちが話し合いに応じるべきだ。高橋社長、あなたにも問う。あなたも私達が働いていた韓国サンケンが清算されるその決定の場にいたはずだ。あなたが韓国サンケンの工場の清算決定を主導的に行ったのではないにせよ、決定の場にいたこと、前社長が犯した過ちを現社長として正し、社会的な責任もとることが現社長としての責任ではないか」と批判しました。韓国からはペクウンジュさん、キムヒョンガンさんもアピール。埼玉市民の会、全統一労組の挨拶が続き、シュプレヒコールで終了しました。

〔志木駅南口前〕



ゆいの会作製の似顔絵パネルが駅頭を埋め、韓国サンケン労組とともに行動開始。埼玉市民の会の発言でスタート。韓国からペクウンジュさんが「会社の経営の向上を願って全面的に協力してきた私達が、なぜ二度も解雇されなければならないのか。私達は日本のサンケン電気から解雇されてはならない、日本のサンケン本社がその生活をきちんと守るべき対象の労働者だ」と訴えました。韓国か

らはキムウニョンさんもアピール。ゆいの会、ノレの会、支援する会などから歌が披露されました。皆が手にした鈴の音や歌声が志木駅前に響きました。明大生協労組のアピールを最後に池袋へ移動。

〔池袋・東京事務所前〕

埼玉市民の会から行動開始。韓国からキムヒョンガンさんが「サンケン電気は日本の子会社を整理するとき、時間をかけて交渉と準備を積み重ね、その後整理している。でも、韓国の労働者にはそのような丁寧な準備期間もなしに、ひたすら労働組合を弾圧するやり方で対応している。これがサンケン電気という会社だ。これは、グローバル企業となったサンケン電気の社是にある『国籍や人種を差別しない』に反する行為だ。…会社がすべきことは大韓民国の憲法を守ることだ。労働者の権利を尊重し、共生という言葉をおぼべきだ。憲法で労働三権の一つとして認められている団体交渉権を認め、韓国サンケン労働組合と交渉を行うべきだ」とサンケン電気の民族差別性を批判しました。全労働者組合、旭ダイヤモンド工業労組、旭非正規職労組支援の仲間、女闘労俱樂部、京浜ユニオンからリレーアピールが続き、怒りのシュプレヒコールが響きわたりました。

〔尾澤裁判の勝利を〕

尾澤裁判の無罪判決を目指し、さいたま地方裁判所へのハガキと署名活動を展開中です。ご協力をお願いします。支援する会まで御連絡下さい。